

こうすれば儲かる!

⑥

水産卸・仲卸の利益管理

多発するシステム

導入の失敗①

水産業界のコンピュータシステムは、40年ほど前から少しずつ導入が始められたが、最近、新しいシステムの導入、検討が、ユーターシステムを導入し、新しいコンピュータシステムになった。近年のデフ

による販売の低迷と魚価の下落、消費者ニーズの変化などによる業態の変化に対応するためである。そのようなケースが増加

問題が生じる」というケースもある。さらに最悪なケースとして、「十分なテストや検討をしない結果、「社内、社外が大混乱に陥り、業務に多大な支障を与えた」という例もある。そのような場合、一体誰がこの問題と混乱の責任をとるのか、またその問題の解決にかかった「余計な費用」は誰が払うのか、トラブル

「開発会社」で失敗が50%

RFP要求仕様書の作成を

な支障を与えた」という例もある。そのような場合、一体誰がこの問題と混乱の責任をとるのか、またその問題の解決にかかった「余計な費用」は誰が払うのか、トラブル

では、なぜこれらのような失敗例ができてしまうのだろうか。多くのコ



情報システム株

大谷 淳一 社長